

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立津久井障害者地域活動支援センター
指定管理者名	特定非営利活動法人竹の子作業所
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立津久井障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の提供を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条)※地域生活支援事業の地域活動支援センターⅢ型を実施
施設概要	開館時間：午前9時30分から午後3時30分まで 休館日：土曜日、日曜日、祝祭日及び12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数：240日 敷地面積：416.89㎡ 延床面積：229.67㎡ 主な施設作業室、事務室、食堂兼集会室、更衣室、トイレ
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	3,697	3,761	3,723	2,374	2,983		
収入総額(円)	16,803,317	16,571,949	18,638,732	18,760,417	17,372,370		
支出総額(円)	16,803,317	16,571,949	18,638,732	18,760,417	17,372,370		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の制限を行ったので目標値に達しなかった。全国の感染状況等を考慮しながら1人の利用者に対して、1週間の利用日数を3日通所から5日通所に段階的に制限を解除していく対策を行った点は評価できる。

指標	
指標名(単位)	開所日1日あたりの平均利用者数 単位:人
指標式と指標の説明	施設を利用し、日中活動や地域との交流に参加することにより、障害者の地域における自立した日常生活や社会生活の促進が図られるため、一日当たりの平均利用者数(年間延べ利用者÷開所日数)を成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	14.10	14.15	15.50	15.50	15.50	15.50	15.50
実績値(人)	15.00	15.50	15.05	9.93	12.43		
達成度(%)	106.4%	109.5%	97.1%	64.1%	80.2%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が楽しみにしていた行事についてはほぼ中止となっているが、時期をみて野外実習（藍染実習）を実施したり、給食サービスの代替として職員が調理した食事や弁当等を提供する「簡単お昼」などを行ったことは評価ができる。</p> <p>また、「利用の促進に関する業務」については、令和3年度も新たな利用者がいなかったことから、当該業務について、法人の積極的な活動が必要である。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
相談支援	通年	利用者等に係る状況の把握(毎日)、情報提供及び助言並びに相談指導(必要に応じて随時実施)	○
連絡調整	通年	利用者等に対して指定障害福祉サービス事業者及び医療機関等と連絡調整(相談支援事業所とモニタリング実施時期に連携を取っている)	○
地域における連携	通年	地域における障害福祉に関する関係者による連携(様々な地域の情報等を共有するために社協や市保健センターと連携している)	○
センターの機能強化業務	通年	サービス管理責任者研修修了者による個別支援計画作成業務等(毎年4月作成)	○
生活動産を提供する業務	通年	就労支援を目的とした企業の請負作業及び自主製品制作販売の活動(プラスチック製品の分解やシール貼りなどの作業を提供し工賃を支給)	○
地域交流に係る業務	通年	地域での各種行事に参加し障害者及び障害児の保護者又は介護者との地域交流【新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事は中止】	/
地域活動支援	通年	施設解放(竹の子祭)、ボランティア(習字講師など)、実習生(津久井養護学校等)の受入れ等を行う【新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止】	/
センターの在り方の検討	通年	今後のセンターの在り方について、センターの抱える課題を鑑みながら、市と協議を行う(家族からの意見について市と協議をした)	○
利用の促進に関する業務	通年	施設及び事業の広報、PR、利用者サービスの向上等に関する業務(竹の子祭について、ポスターやポスティングを実施)【新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた竹の子祭、ポスターやポスティングを中止】	/

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
野外活動/野外実習	4月・5月・9月・11月	お花見会(余暇活動)4月/0名、アジサイ見学(余暇活動)5月/0名、日帰り研修旅行9月/0人、野外実習(藍染実習)11月/16名【お花見会、アジサイ見学及び日帰り研修旅行については、新型コロナ感染防止のため中止】	○
健康支援	4月～11月	体育館レクリエーション(元気にパワーアップ体操)【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】	/
調理実習	通年	利用者の調理指導(利用者・指導者)月1回/0名【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】	/
給食サービス	通年	利用者の給食の提供(給食ボランティア)月2回/0名【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】代わりに「簡単お昼」として職員が調理又は弁当の提供を月2回実施する。	◎
習字教室	通年	利用者の書き方の指導(習字ボランティア)月1回/0名【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】	/
竹の子祭	3月	施設を解放し、地域との交流を図る。年1回/0名【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】	/

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	アンケート調査では、ほとんどの利用者が「良い(10票)」「ふつう(5票)」であった。3年連続で目標値に達成していることから、引き続き、個々の利用者に向けた支援等を期待する。設問が職員への満足度なので、施設運営の満足度を確認する設問について検討が必要である。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者16名に対して11月にアンケートを実施
目標値の基準	(職員の対応はいかがですか)との問いに対する4段階のうち(よい)、(ふつう)と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	91.1	91.7	92.3	92.9	93.5	/	/
実績値 (%)	80.0	85.0	92.3	93.8	93.8	/	/
達成度 (%)	87.8%	92.7%	100.0%	101.0%	100.3%	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
利用者、来所者意見箱の設置	通年	センターに直接、意見や要望等を伝える事が出来ない利用者及び来所者のために意見箱を設置した。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	法人の経営は相模原市指定管理事業に依存している。経常損益は前期272千円の損失だったが、当期は315千円の利益となった。当期黒字化の主な理由は、修繕費が、前期1,298千円から当期327千円へと大幅減少したことにある。所有資産の大半が現金であり、経常収益の約5か月分を保有している。負債は僅かしか無い。経営上、特段の課題はない。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	16,974	17,313	16,370
指定管理料	16,005	15,952	15,331
利用料金収入	0	0	0
補助金（コロナ対策関連）	0	600	269
その他の収入	969	761	770
支出 (b)	16,430	17,749	16,823
人件費	12,082	12,958	12,937
本社管理経費	969	761	770
その他の支出	3,379	4,030	3,116
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	544	-436	-453
自主事業収入 (d)	0	0	0
自主事業支出 (e)	0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	544	-436	-453
備考	令和2、3年度の全体収支の赤字分は、過年度からの繰越金により充当している。		

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員による現地確認及び指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和3年7月26日(月)

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	改善済	未対応であったが対応済み
情報公開・個人情報保護	改善済	未作成であったが対応済み
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

日中は生産活動として企業から受注されたプラスチック製品の分解やナットワッシャー入れなどの軽作業を行い、年間工賃として770,094円(1人あたり2,534円/月)を支給することが出来た。

日帰り研修バスツアーは新型コロナウイルス感染拡大の為に中止となったが、紅葉狩り、クリスマス会、正月のお茶会と、季節を感じ、コロナ禍においても生活に張りを持ち過ごしてもらう事が出来た。また、新型コロナウイルス感染対策として、5班に分かれて実施した野外実習では全員が藍染め体験する事が出来た。

利用者のニーズを把握する為、個別に面談を行い、話を聞くとともに定期的に字を書く機会を提供し、想いを吸い上げ日々の支援に当たったことが利用者満足度調査での高評価に繋がった。利用者家族は高齢化が進んでおり、送迎や昼食のお弁当作りが大変の声が聞かれた。将来のことも考えなくてはならない不安に対し、障害福祉サービス事業所の職員を招いての「相談会」を行い、障害福祉サービスのことを知る機会を家族へ提供した。今後も引き続き、利用者・家族のニーズに寄り添いながら、障害福祉サービス事業所への移行に向けて準備を進めていく。サービス向上のため、職員への研修参加も継続する。

10 所管課意見

・施設内において利用者同士が密の状態とならないように、利用者やその家族の状況に配慮しながら、10月末までは利用者1人に対して、1週間の通所日を3日～4日に調整していた。また利用者帰宅後に毎日30分かけて施設内の消毒を行ったことは評価できる。引き続き、利用者の安全・安心を考慮した施設運営をお願いします。

・コロナ禍で、利用者が楽しみにしている行事がほぼ中止になっているが、野外実習について予定時期をずらして実施したり、給食サービスの代替サービスを行うなど、職員が利用者のことを考えた支援を行っていることについて評価する。このことが利用者満足度の高い状況に繋がっていると考えられる。

・平成27年度を最後に新規の利用者がいない状況が続いている。今年度は近隣グループホームの入所希望者が体験利用を行ったが、利用には繋がらなかった(グループホームに入所できなかった)。障害福祉サービス事業所に移行しても新規の利用者がいないと事業の継続は困難であることから、コロナウイルス感染症の影響があったとしても、新規の利用者の獲得に向けて積極的に広報・PR活動を行うとともに魅力ある施設運営の実施を求める。

11 選考委員会意見

【評価した点】

- ・新型コロナウイルス感染症のなかで、時期をみて野外実習（藍染実習）を実施したり、給食サービスの代替として職員が調理又は弁当を提供する「簡単お昼」などを行ったことを評価する。
- ・利用者満足度が良好である。満足度調査において、利用者からのコメントが多くあるので、積極的に対応したり、事業に活かすことで、より一層の満足度の向上が図れる。

【今後期待する点等】

- ・長期間にわたり新規利用者がいない点は、公立施設に期待される役割として疑問を持たざるを得ない。家族会から法人格を取得し、長年にわたり現施設で事業を行っているが、新規利用者の受入について努力が見えず、事業の発展性も見えない。法人として新規利用者の受入れについてどのように考えているのか、市と協議を行い、早急な改善が必要である。
- ・令和2、3年度と繰越金を全体収支の欠損に充当している。繰越金については、利用者支援等のために還元を検討し、経営については指定管理料を基準として見直しを図ることが望まれる。
- ・満足度調査においては、令和2、3年度でほとんど同じ内容で、設問数も少ない。利用者のより細かい意見を汲み取るためには、市と協議を行い、設問内容の変更や調査回数を増やす等の工夫が必要である。

総合評価（自動判定）

C

(50/100)

